

第1回本庁跡地整備基本構想検討会議での意見【まとめ】

(順不同)

施設の整備全体に関する意見

- ・基本設計から完成までのスケジュールを安全を見てきめ細かくしたほうがいい。
- ・商工会議所を含め、長浜らしい、長浜市民みんなが交流できるような施設ができればいい。
- ・今回整備する施設は地理的にもわかりやすく、たくさんの駐車場も造っていただけたと思うので期待している。
- ・これからの長浜を担っていく子どもたちが、長浜はいいところだと思えるような施設ができればいい。
- ・ハコモノは大事だが、十分に精査して内容を考えないと建物を建てればいいだけの話ではない。
- ・長浜のまちなかエリアが消失することは長浜の存在価値、アイデンティティが無くなってしまうことなので、まちに住む人々をこれからどう繋いでいくかを考えてそれが活かせる施設でないといけない。
- ・適正規模でそれぞれの機能が使えるものを整理して、コンパクトに無駄のないスペースの使い方をできるようにしたほうがいい。
- ・各機能をはっきりした形にするとそれにしか使えない。中を入れ替えれるように造ると、将来用途が変わっても構造は使える。
- ・施設で使う電力の発電や緑化などにも気を配ったほうがいい。
- ・ランニングコストがかかると立ち行かなくなり使われなくなってしまう心配もあるので、あまりきちんと用途を決めてしまうのもどうか。

施設の各機能に関する意見

- ・商工会議所、商工会が一体となって産業創造センターを有効に機能できる施設としていきたい。
- ・産業創造センターでは、広域的、専門的な相談、指導が必要な時にセンターの機能を使い、そこから繋いでいくことを考えている。商工会議所と連携しながらできるのも一つのポイント。
- ・市民活動支援コーナーには市内の市民活動団体を設立させて応援していくという役割・目的があるなかで、コーナーというと窓口的なイメージ。
- ・公民館と市民活動支援コーナーの役割・目的のなかで、地域づくり活動団体と市民活動団体の棲み分けを整理したほうがいい。
- ・市民活動支援コーナーは支援する人が大事。そういう人をうまく集めて来られるかが大変。引っ張っていく人がいないと難しい。
- ・図書館は小学校や中学校があるので利用してほしい。
- ・図書館のなかの機能を大事にして歴史や文化等に特化して、ここに来ればいろんなことができるというのが必要。
- ・交通の便がいいので駐車場で来てもらうのではなく、簡単なものは各地域の図書館を利用し、中央図書館の役割を考えていく必要がある。
- ・図書館や商工会は各地域にあるので、狭い地域のなかできちんとやって、そこで問題のあったことを大きいところで解決できる機能を持たせていくほうがいい。
- ・観光客や一般の方が目的が無くても寄ってみようかという雰囲気施設の施設ができればいい。
- ・行政視察というのは大きな観光の1つ。何か観光の目玉になるような施設もあればいい。
- ・八幡宮からの石畳の整備もでき、東からまちなかへの導入路としてはおもしろい立地条件になる。施設そのものが視察を呼び込めるだけの内容にして、まちなかへ観光してもらう流れになればいい。

施設の機能連携に関する意見

- ・商工会議所も併設できれば、図書館も今までみたいな親子や子どもだけでなく、経済産業資料があることによってお互い行き来でき、交流できる。
- ・図書館や公民館、商工会議所と大型ショッピングセンターみたいな大型公共ゾーンができるのはありがたいが、内部がうまく連携しながらどう有効利用できるかを考えておかないといけない。
- ・横の繋がりが活かされないといけないので、仕掛けが大事。
- ・施設全体の交流部分が合ったほうがいい。